



(1) 目下工事中の東京市設卸賣神田市場の配景圖
市場各棟の後ろに見ゆるは省線秋葉原驛及び高架線の一部である。
The big Kaoda-Market of the Tokyo Municipality now under construction.

東京市中央卸賣市場

神田分場新築工事の現状

東京市建築課 稲 葉 重 郎

○
遠くギリシャの (aroca) ローマの (Forum)
以來市場は都市の一般生活上に重大な使命を
持ち續けてゐる。經濟狀態の一般的變化や、
時代の推移に伴つて其形式は變つてはるたが
近代文明都市は市場 (market) を市場館 (mar-
kthallen) に更へて了つた。

○
近代都市の市場は大體都市卸賣市場 (Hau-
pt markthallen) と、中央市場 (Zentral mark-

thallen) と、小賣市場とに分ける事が出來よ
う

○
東京市中央卸賣市場は性質上、此の最初の
ものに屬してゐて、帝都に日夜搬入されて來
る食糧品の卸賣を目的としてゐる。夫で市場
は東京市の地理と其他の技術的要求からして
築地、神田、江東の三ヶ所に建設さるゝ事
になりました。

神田分場は主として青物を取扱ふもので、

此の大中央市場計畫の一部分ではあるが、其敷地、建坪、設備の完備等は分場一箇として、完成後は充分海外の著名な食糧品市場に比較され得るでありませう。

建築計畫を大體説明しますと、市場敷地は省線貨物驛秋葉原驛に隣接して其の西側に在つて南北に 128.9間×48.22間の長き矩形をなし、日本橋方面より上野に至る一號幹線道路及び本郷、神田方面より藏前、兩國、本所に至る幹線二十二號、幹線二號、補助五十八號等の路線に取圍まれてゐます。

○

敷地の主要部に三階建の本館を中心として賣場十八棟を四列に並行に配置し、南北の方向に幅員 10 米の通路五條を通じ、夫の兩側に百五十六個の店舗が設けられる。南北兩端の大廣場は開市中は車置場として使用される其周圍に附屬商店舗、待合所、食堂及び便所等が配置されます。

賣場は全部二階建であつて、階上に倉庫を取り、荷揚臺、荷揚口、エレクトリック、ホイストを設け、又四號十二號十六號の各棟には特種の果實用の醗酵室が地下に設けられて溫度調節装置を有する瓦斯装置が附屬する。道路上家には防熱装置を施して採光天窗及びクリヤストリーが設けられて居ります。

本館は地下室に食堂及び倉庫、一階には見本陳列所、荷捌所、階上には郵便局、銀行、組合事務室、市事務室、場長室、營業人事務室、營業人集會所其他であります。

設計概要

- 1 位置 東京市神田區山本町全部、花田町相生町、練堀町の一部
- 2 敷地坪數 6,055坪72
- 3 建坪數 3,386坪65
- 4 延坪數 5,349坪14
- 5 建坪種別及坪數

名稱	階數	棟番號	建坪
本館	三階建地階付	1 號 棟	201.46
賣場	及二階建	2. 6. 7.10	435.60
倉庫	一部平家	11.14.15.19	

賣場及倉庫	同	3. 8. 9 13.17.18.	773.19
賣場倉庫及醗酵室	三階建一部平家建地階付	4.12.16	337.59
道路上家	平家建		1515.39
附屬商店舗	同	20.21	52.92
待合所及便所	同	22.	26.50
食堂及便所	同	23.	34.20
便所	同	24.25	9.80
計		25棟	3,386.65

6 設計 東京市土木局建築課市場建設係

7 施工 大阪橋本組

8 構造大要 主として鐵筋混凝土造で2號棟より19號棟に至る各棟間の道路上屋は鐵骨造で屋根は淺野波板スレートを葺く。

基礎は在來の地盤を掘下け割栗石地形の上に鐵筋混凝土造とす。

壁體、柱、屋體は總て鐵筋混凝土造にして間仕切には木造又は鐵骨、メタルラス張りモルタル塗の個所あり。

壁面外部は總て色砂入モルタル刷毛引仕上とす、外廻り幅木は人造石研出とす。

内壁面、賣場、附屬商店舗、待合所、本館一階見本陳列場、荷捌所は石灰入モルタル塗便所圍及食堂周圍はタイル張とす主要部室周壁は腰羽目上部鋸屑入漆喰塗、天床コルクスプレーペンキ塗りとす。

階段室、鐵筋混凝土床版上にモルタル塗、踏面角に鐵製ノンスリップF號2 1/2"を取付く。

屋根、陸屋根は鐵筋混凝土床版上に火山砂利混凝土打均し、モルタル塗の上に防水層を施したる上、耐火石ブロック (30cm×30cm×6cm)敷とす。

天井、殆んど總て石灰入モルタル塗とす、地下室天井は混凝土面にホワイトオツシュ塗とす、本館一般の天井は混凝土面に漆喰塗、並木摺下地を施し漆喰塗とす、二階三階の便所天井は金屬天井張とす、道路上屋天井は鐵骨母屋下に防熱板張りペンキ塗、採光天窗を設く。

窓及び出入口、外部出入口建具は鋼製ペン

キ塗、道路大出入口は鈴木式防火シャッター改良型三號品にて防煙装置、防風装置を、外部窓はトラスコン會社製スチール、サツシユ、ペンキ塗を、外部への出入口は總て鋼鐵扉にして内部出入口及び窓建具は木製ペンキ塗を。

道路上部クリヤストリーのスチールサツシユ、回轉用オペレーター日本トラスコン鋼株式會社製A型トーションタイプ式にてキャバシチー20米をせり。

地階防水工事、地階及び周壁には防水工事を施す、床は割栗地形の上に防水モルタルにて均し乾燥後防水層はダンプコース四層、フェルト一層をブロンアスハルト溶液にて張付け鐵筋混凝土床にて水壓を防止す。

周壁は鐵筋混凝土壁面に防水モルタルにて村直し塗をなし床同様防水層張付け、水壓防止の爲め腰部壁體を床の鐵筋混凝土と連續して打立て上部は棟瓦を積立つ、同上塗は防水

モルタルにて鍍塗仕上げを。

衛生設備、便所は水洗式とし、鉛管又は鑄鐵管にて外壁まで導き東京市大下水に放流するものにて、主要部にトラップ掃除口、排氣管を取設く、手洗場、浴室、湯沸場等には總てフロア、トラップ付鉛管及び鑄鐵管にて外壁まで導きトラップを通して屋外下水に排除するもの。

地階及空濠排水、床面及び空濠面勾配を配し下水開渠溜桝取設け、調理室排水には脂肪遮斷装置を附しポンプを以て屋外に排水するもの。

構内排水、各棟周圍にU形下水を設け曲角毎に泥溜を附し、暗渠にて溜桝に導きトラップを通して大下水に放流するもの。

構内鋪裝工事、路盤をローラーにて輾壓して割栗石張立てローラーにて更に輾壓し下層基礎混凝土、上層ソリヂット混凝土機械打す。

矚目すべき土木 學會關西支部

從來社會的に餘り振はなかつた土木學會が急に大阪に關西支部を設けて、支部會員500餘名を得て一月二十八日に第一回支部大會を開催する事になつたのは注目すべき事である。

關西支部の設置は昨年九月發起人會を開き其後支部基金として既に二萬圓の寄附金を得たこの事であるから經濟的にも確實に發達するわけ、支部會長は京都大學の大井清一博士で、役員は鐵道、府、市其他の關係の熱心な人が世話をされる、今後は大阪支部としても講演會、見學視察旅行等を催する云ふユライ意氣込である。本部の束縛がないから自由な研究的運動が起され、其

の點は却つて本部よりも盛大なものになるかも知れない。

然し乍ら我が土木學會は社會的な風潮から超越してをる研究的な點が犯すべからざる一種の權威でもある。支部としては比較的自由的な運動を執るにしても本部はあく迄も學會としての權威を保たねばならぬ……云ふ意見が多い様である。

他の何れの學會にも見られない、あの權威ある土木學會誌迄もが幾分でも非研究的になる事は會員の何人も望まい、何時までもあの會誌はあの態度を保ち度い……云ふ意見がやつぱり多い様である。

新會長岡野博士は如何に見らるゝやら。